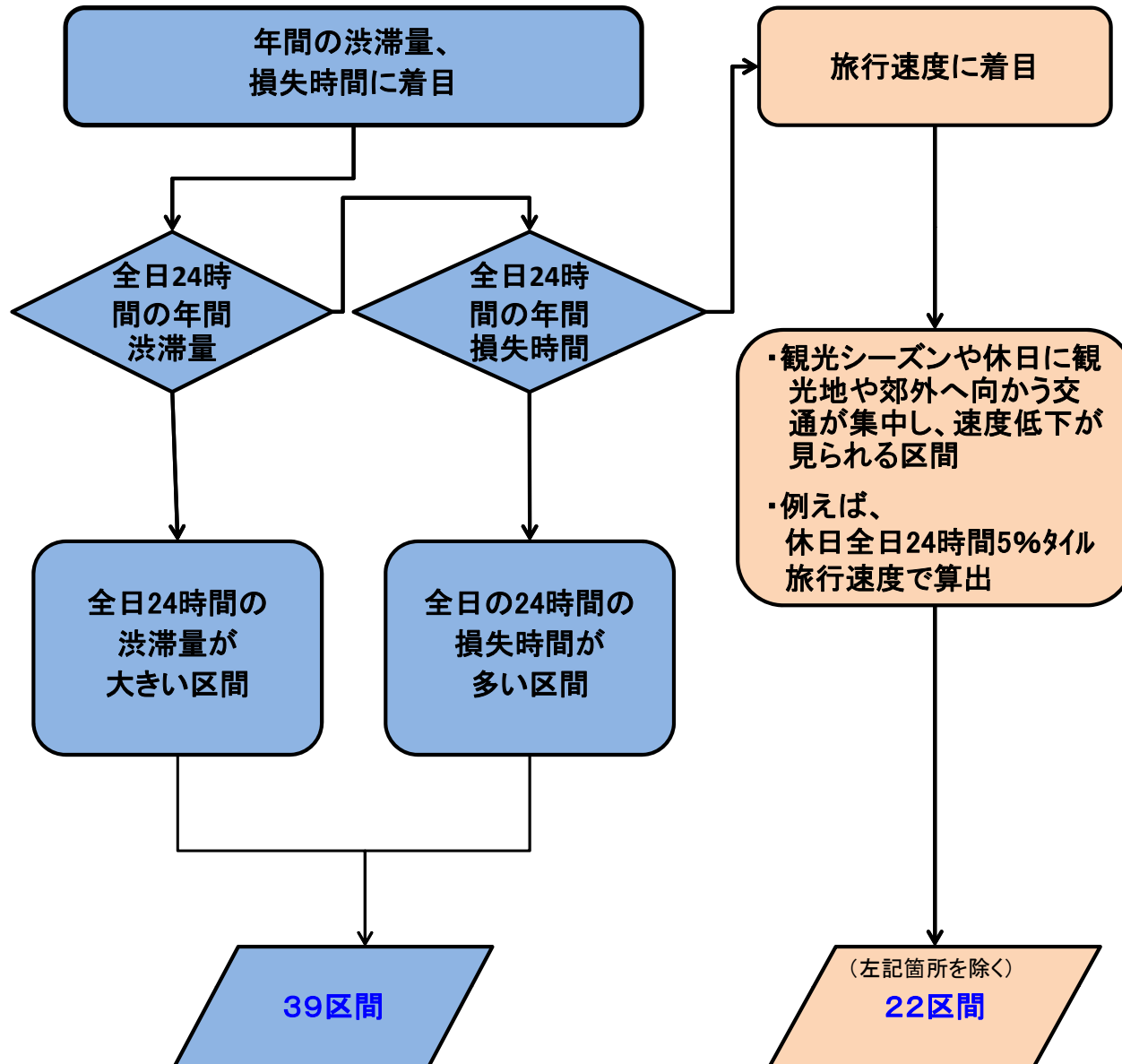


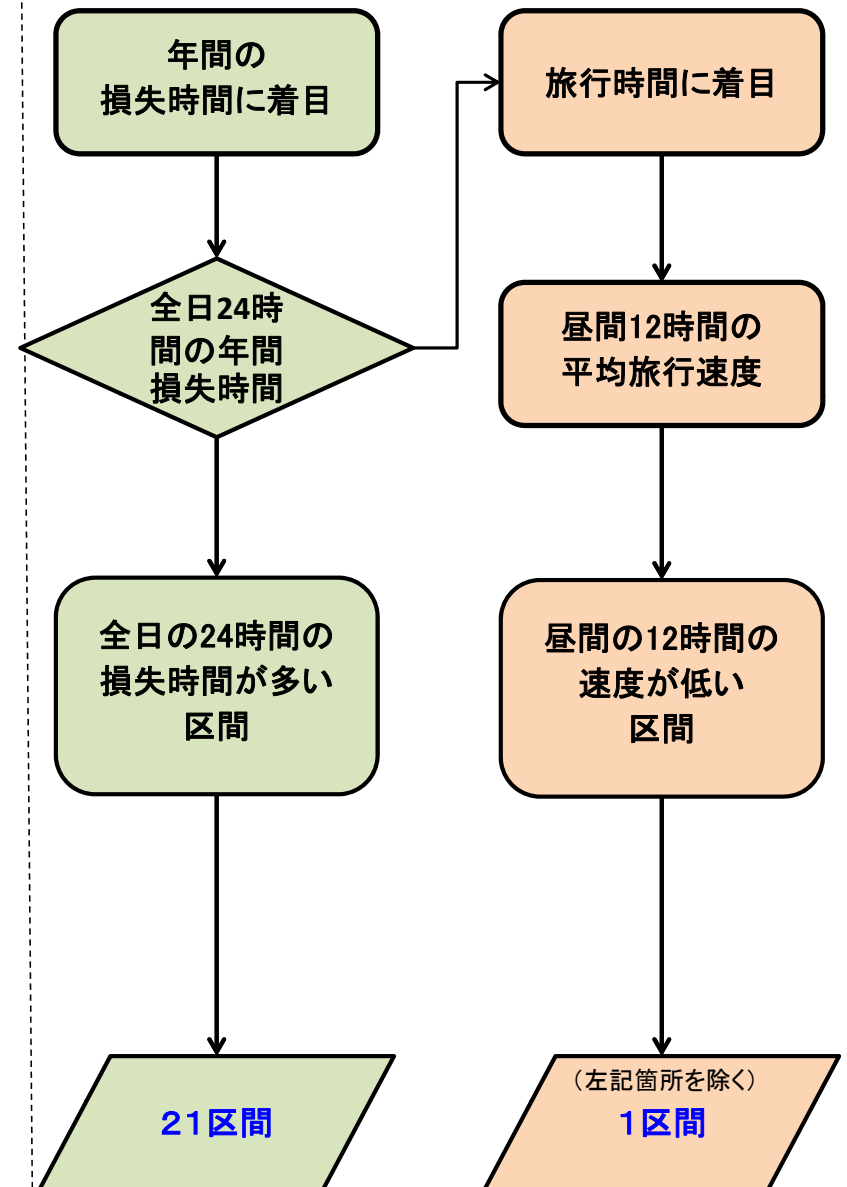
指標の考え方(参考)

<参考> 高速道路の主要渋滞箇所の候補の選定の考え方

高速道路(首都高速除く)



都市高速(首都高速)



<参考> 高速道路の指標の考え方(1)

○高速道路の渋滞状況を示す指標として、**渋滞量 3,650km・h/年以上**および**520km・h/年以上**および**損失時間 15万台時間/年以上**を用いる。

渋滞量3,650km・h/年とは・・・

10km以上の渋滞が毎日発生するような箇所

(最大渋滞長10km以上、継続時間2時間以上の渋滞を換算し、1年間に相当する回数を算定したもの)

渋滞量520km・h/年とは・・・

10km以上の渋滞が週1日発生するような箇所

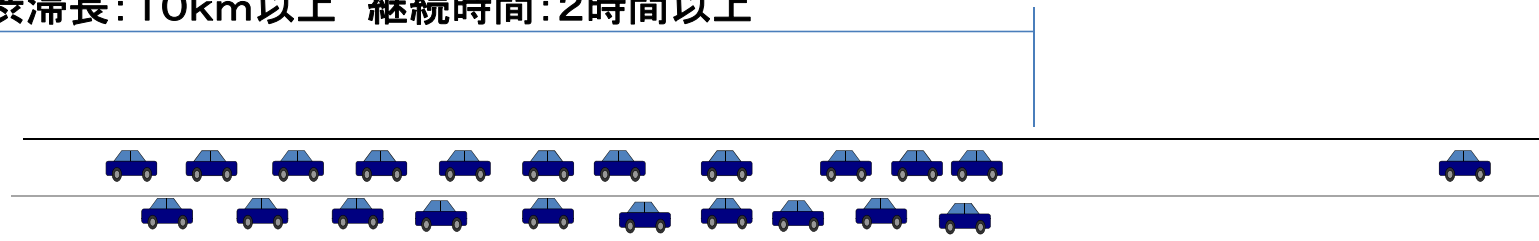
(最大渋滞長10km以上、継続時間2時間以上の渋滞を換算し、1年間に相当する回数を算定したもの)

損失時間15万台時間/年とは・・・

年間のピーク時に速度40km/hの渋滞が発生するような箇所

【交通状況のイメージ】

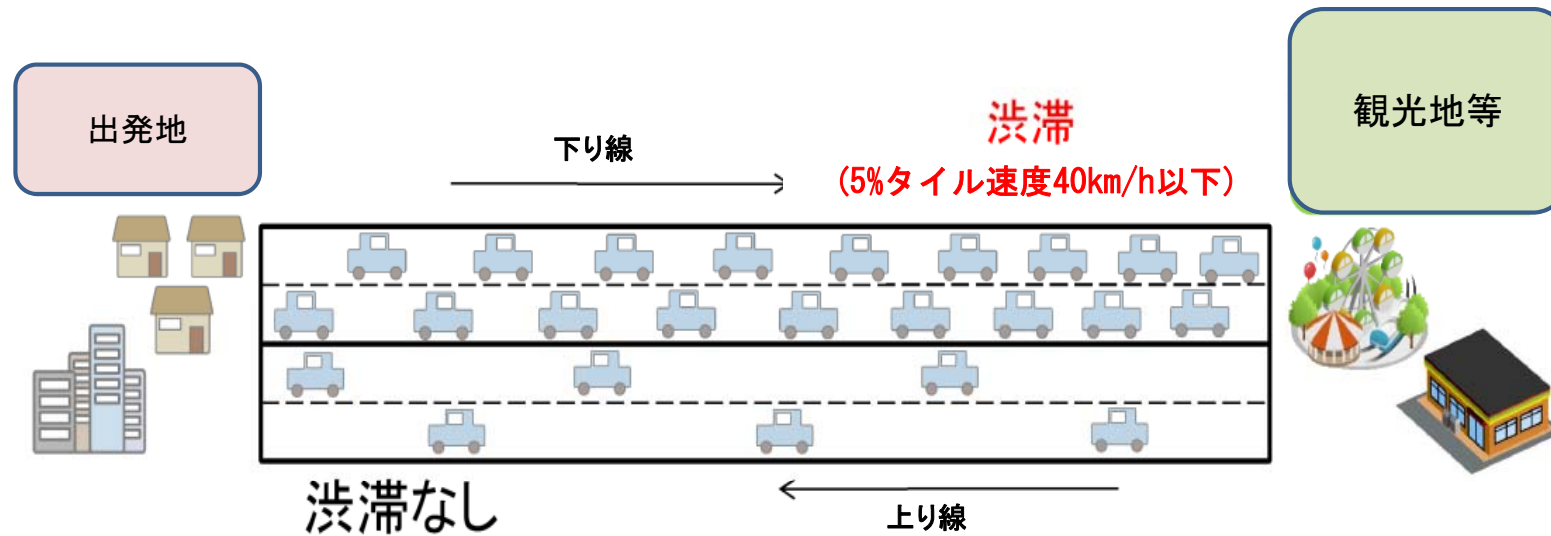
渋滞長: 10km以上 継続時間: 2時間以上



<参考> 高速道路の指標の考え方(2)

○休日や特定期(観光シーズン等)で著しい渋滞が発生する箇所を抽出する指標として、**休日5%マイル速度40km/h以下**を用いる。

【交通状況のイメージ】 <休日や観光シーズン>



<参考> 首都高速の指標の考え方

○首都高速の渋滞状況を示す指標として、**損失時間30万人時間/年以上**および**損失時間 12万人時間/年以上**を用いる。

損失時間30万人時/年以上とは・・・

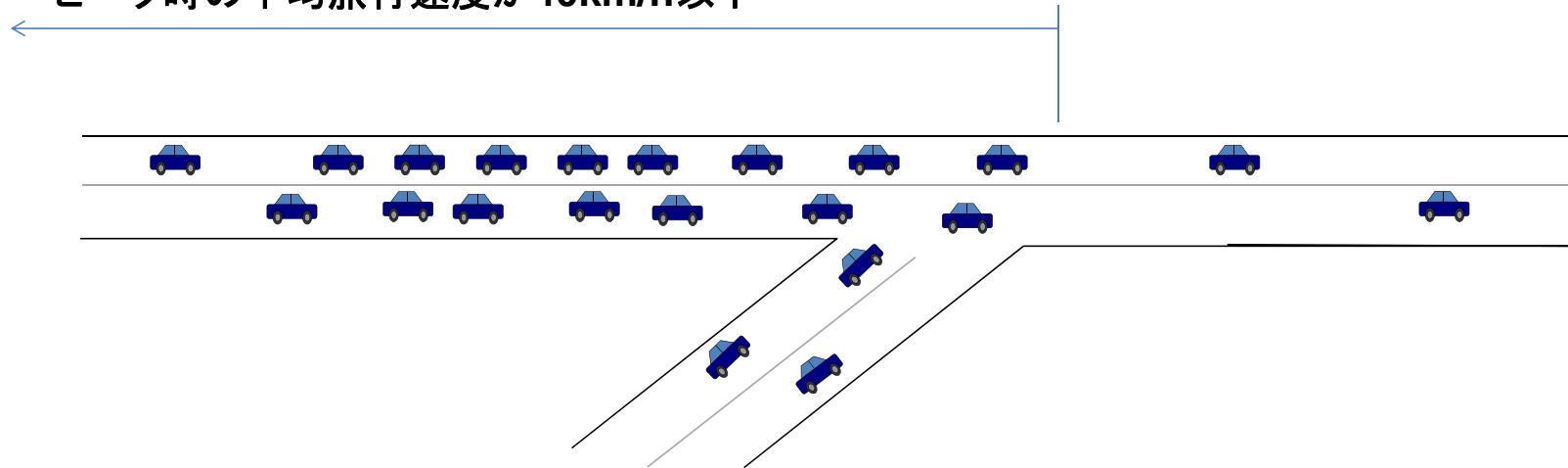
ほぼ毎日渋滞している区間で、特にピーク時には旅行速度の平均が20km/h以下となるような箇所

損失時間12万人時/年以上とは・・・

ほぼ毎日混雑している区間で、特にピーク時には旅行速度の平均が40km/h以下となるような箇所

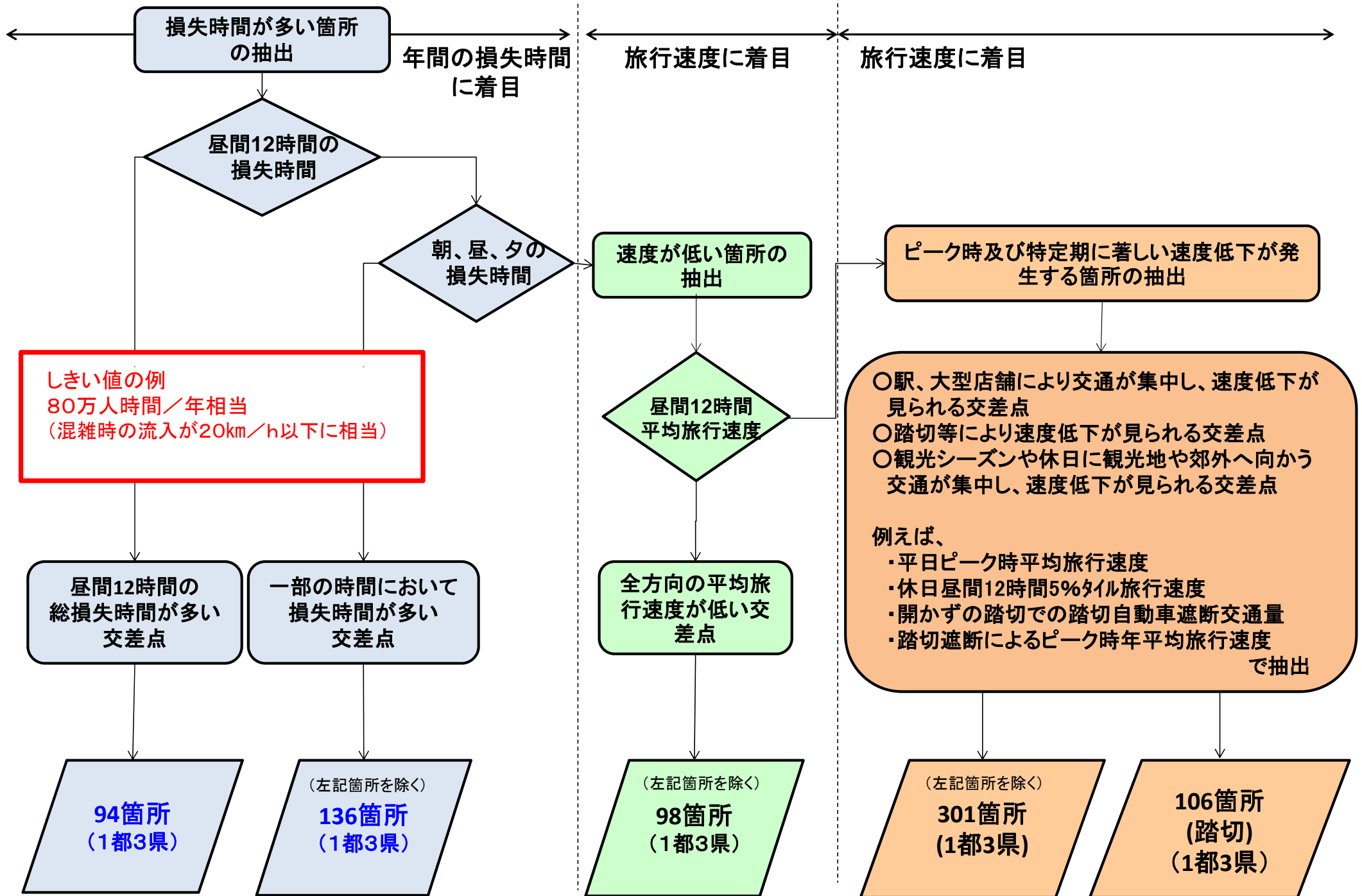
【交通状況のイメージ】

ピーク時の平均旅行速度が40km/h以下



○損失時間は小さいが速度が低い箇所として**昼間12時間平均旅行速度40km/h以下**となる区間を抽出

<参考>一般道の主要渋滞箇所の候補の選定の考え方



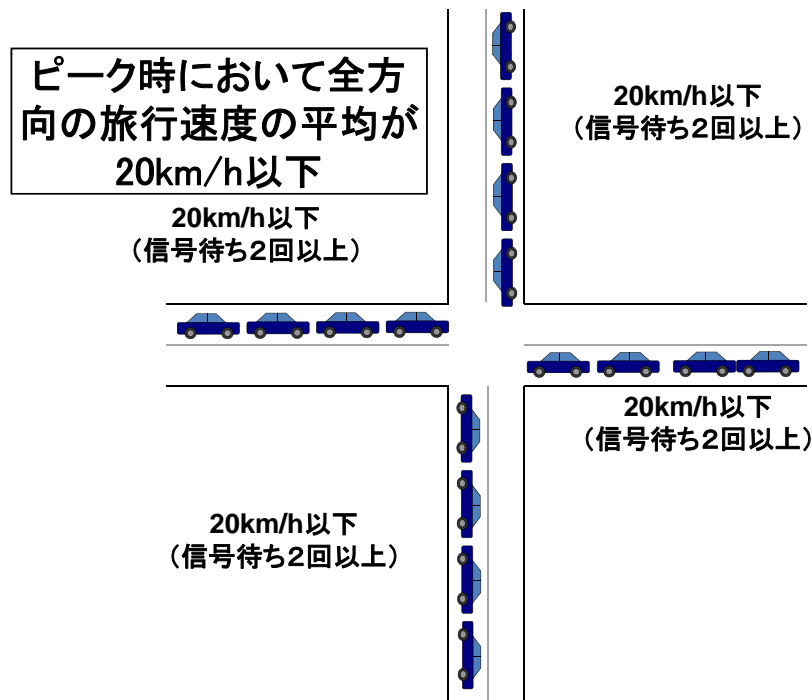
<参考> 一般道の指標の考え方(1)

○一般道路の渋滞状況を示す指標として、**損失時間 80万人時/年以上**を用いる。

80万人・時間/年とは・・・

終日混雑している交差点で、特にピーク時には全方向の旅行速度の平均が20km/h以下(信号待ち2回以上)となるような箇所

【交通状況のイメージ】



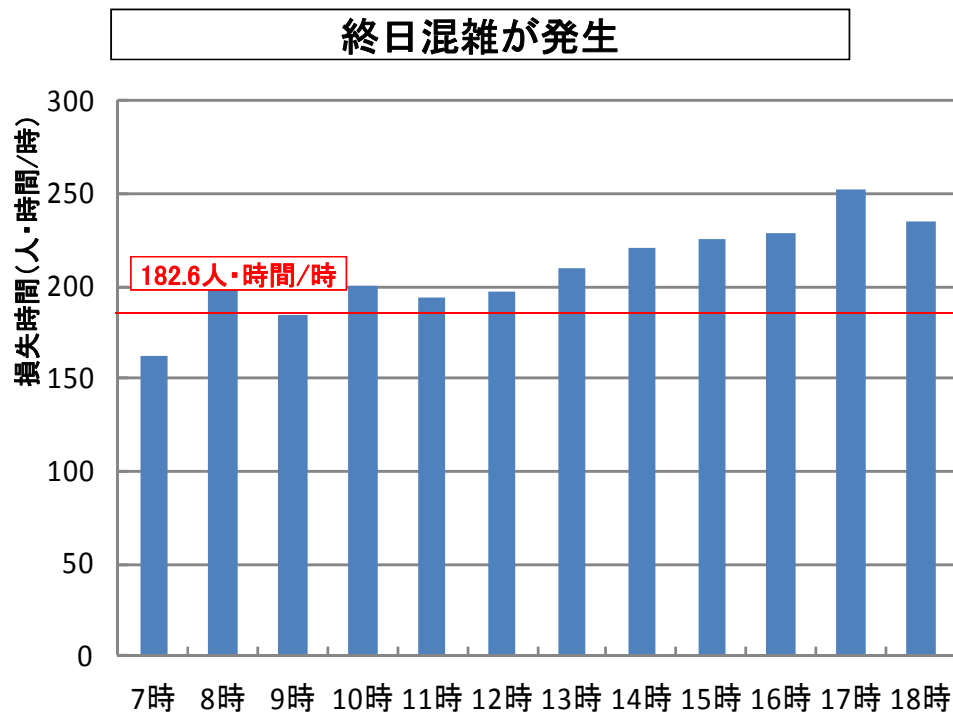
<参考> 一般道の指標の考え方(2)

○慢性的な渋滞箇所ではないが、ピーク時間帯の損失時間が(1)と同程度になる箇所を抽出する。

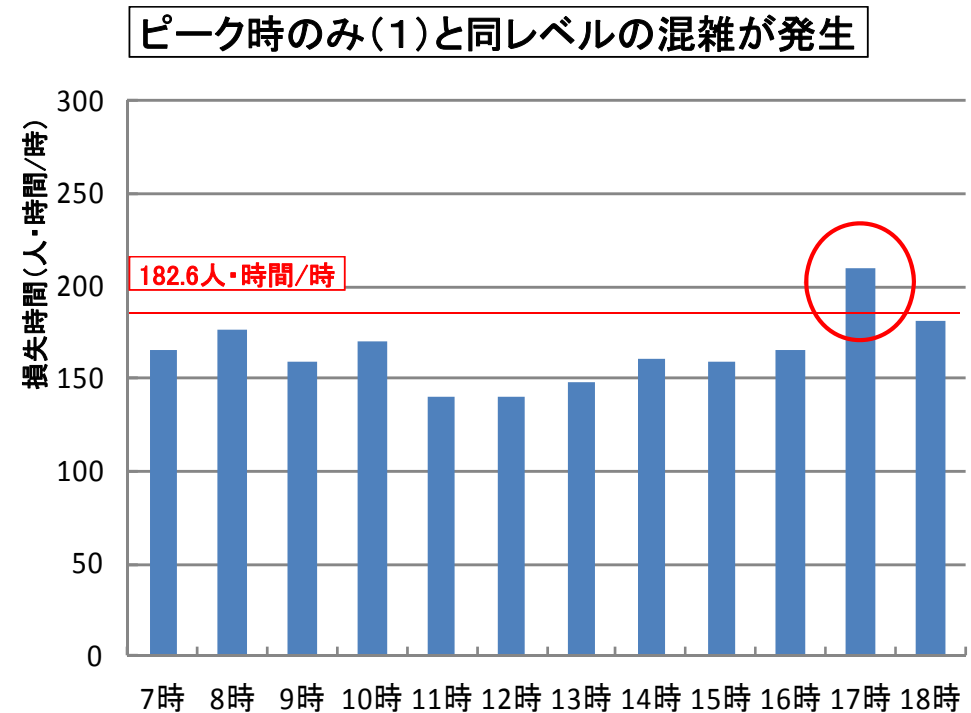
ピーク時の損失時間が(1)と同程度とは・・・

$$80\text{万人}\cdot\text{時間}/\text{年} \div 365\text{日} \div 12\text{時間} = 182.6\text{人}\cdot\text{時間}/\text{時}$$

【(1) 抽出された箇所の時間帯別の損失時間】



【(2) 抽出された箇所の時間帯別の損失時間】

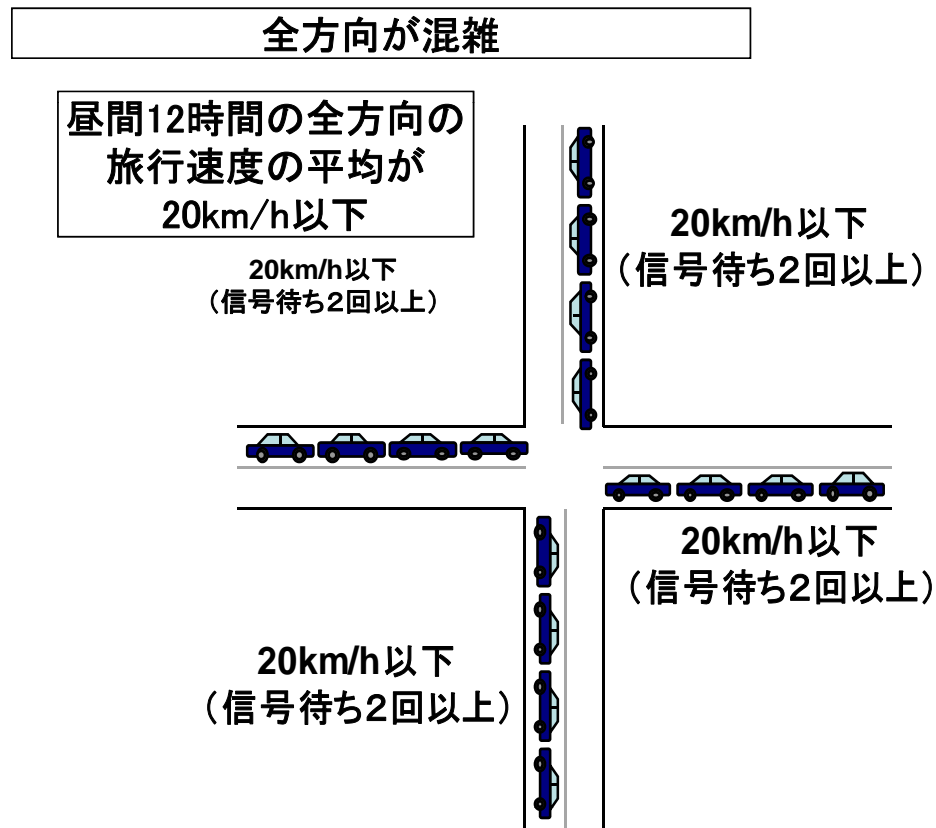


<参考> 一般道の指標の考え方(3)

○(1)(2)では全方向が基準(20km/h以下)を超える交差点を抽出しているが、交通量が比較的少ない交差点は損失時間が小さくなるため、基準に達せず対象外となってしまう。

○そこで、(1)と同程度の渋滞が発生する交差点を抽出する。ただし、損失時間は都県内の上位100位以内とする。

【(3)で抽出する箇所の交通状況のイメージ】



<参考> 一般道の指標の考え方(4)

○東京都心部からの放射道路や駅、大型店舗、踏切等の周辺の交差点において、平日ピーク時(通勤時)の1方向のみで著しい渋滞が発生する箇所を抽出する。

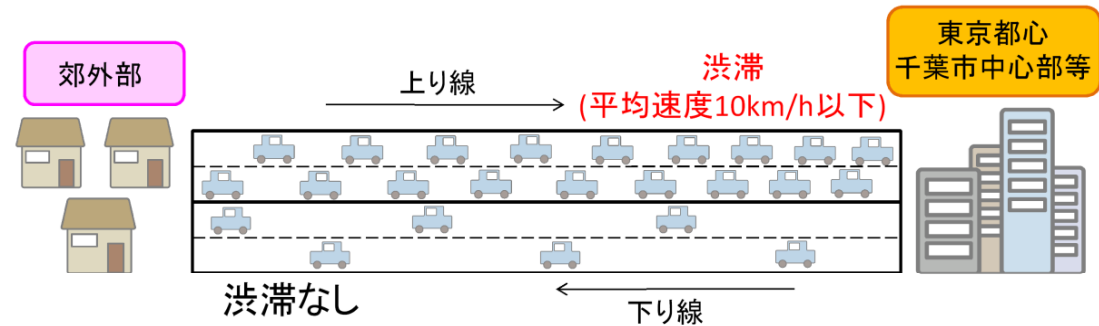
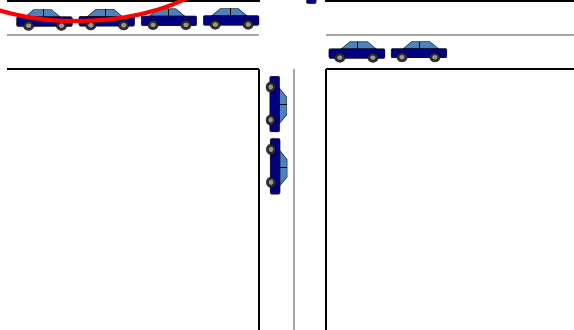
○観光地や郊外の商業施設等に向かうアクセス道路において、休日や特定期(観光シーズン等)で著しい渋滞が発生する箇所を抽出する。

【(4)で抽出する箇所の交通状況のイメージ】
<平日朝の通勤時>

1方向だけでも著しい渋滞

ピーク時に1方向において、
10km/h以下

10km/h以下
(信号待ち3回以上)



【(4)で抽出する箇所の交通状況のイメージ】
<休日や観光シーズン>

目的地までのアクセス道路(DID外)

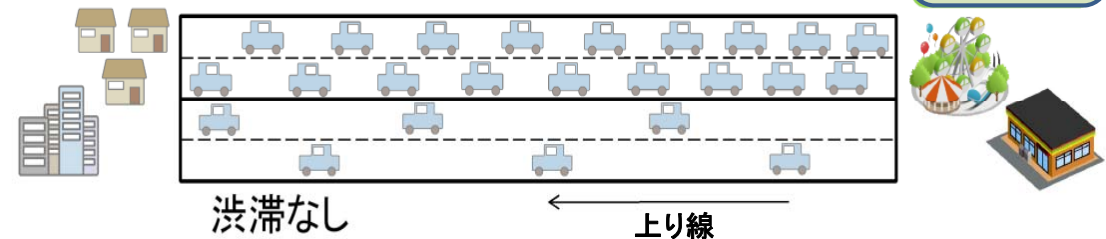
出発地

下り線

渋滞

(5%タイム速度10km/h以下)

観光地、郊外の商業施設等



<参考>踏切の指標の考え方

○ピーク時の踏切遮断(40分以上)により、影響を受ける踏切自動車交通遮断量が多い箇所(5万台時/日以上)および速度が低下(20km/h以下)する箇所を抽出

【交通状況のイメージ】
<平日朝の通勤時等>

